

先日は雨の中、てがたんにご参加いただきありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回5月の「てがたん」は5月9日(土)で「緑色の季節」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは5月2日(土)です。よろしくお願いいたします。

4月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→親水広場→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2015年4月11日(土) 10:00~12:00 /小雨
- 参加者 5人(一般3人、子ども2人)
- 市民スタッフ 4人(木村稔、染谷迪夫、弘實さと子、松村定雄)
- 鳥博職員 1人(塩田いづみ)

観察記録 - 4月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/
 クイナ科：クイナ、オオバン/シギ科：タシギ/カモメ科：セグロカモメ/タカ科：トビ/カウセミ科：カウセミ/モズ科：モズ/
 カラス科：ハシボソガラス/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/ムクドリ科：ムクドリ/
 ヒタキ科：ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ/
 外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、ノボロギク、ハルジオン、オオジシバリ/
 シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、タチイヌノフグリ、トキワハゼ/
 バラ科：ヘビイチゴ、ユキヤナギ、オオシマザクラ、ソメイヨシノ、八重桜(植栽)/
 マメ科：カラスノエンドウ、ハナズオウ(植栽)/アブラナ科：セイヨウアブラナ、タネツケバナ、ナズナ/
 キンポウゲ科：ケキツネノボタン/ナデシコ科：コハコベ、オランダミミナグサ、ノミノフスマ、ノミノツヅリ/
 カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/ケシ科：ナガミヒナゲシ/モクレン科：コブシ(植栽)

4月の観察アルバム



今回のテーマは「春の花」でした。小雨が降っていましたが、傘をさしながら観察会を実施しました。染井吉野の花はまだ残っていました。八重桜はつぼみの状態のものが多く見られました。



今月の案内人 弘實さと子さん 染谷迪夫さん



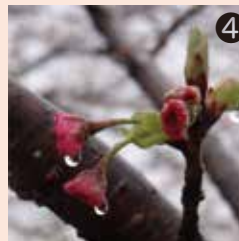
① クスノキの新芽が色あざやかでした。



② 芝生広場ではカルガモが採餌していました。



③ 雨のため、もやのかかる中で見る染井吉野。



④ 八重桜の松月はまだつぼみでした。



⑤ 傘をさしながら、遊歩道の桜を観察しました。



みくるまがえ 御車返し

一重と半八重のやや濃いピンクの花を咲かせていました。



4月てがたんの観察生物とルート



そめいよしの 染井吉野

白色に近い淡いピンクの一重の花を咲かせる染井吉野。



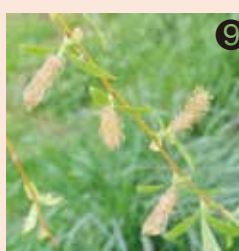
⑥ 木のてっぺんに止まっているモズ。



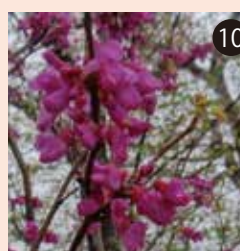
⑦ 雨の中、ヨシ原の縁でじっとしていたオオバン。



⑧ カラスノエンドウの花があちこちに咲いていました。



⑨ シダレヤナギの花が咲いていました。



⑩ ハナズオウの濃いピンクの花が目立っていました。

手賀沼のコブハクチョウ

この時期手賀沼では、コブハクチョウが巣作りをしている姿が見られます。今では手賀沼では一年中見られるおなじみの鳥となりましたが、手賀沼でコブハクチョウが見られるようになったのは、1987年に番が一組、手賀沼にやってきたのが最初です。以降、個体数は増加しています。

コブハクチョウの英名は「Mute Swan = 鳴かないハクチョウ」です。声を共鳴する役割のある気管はオオハクチョウなどではとても長く、大きな声で鳴くことができますが、コブハクチョウの気管は短く、大きな声で鳴くことはありません。



卵をあたためるコブハクチョウ